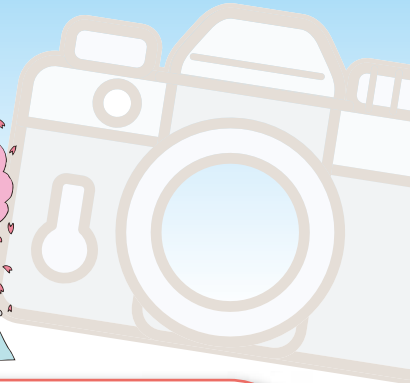


みなさんの笑顔をお届けします…

# カメラレポート

毎月15日号は、市民のみなさんに季節の話題や出来事などを主にお伝えしています。



## 学 び舎を後に、巣立ちの春 市内小学校で卒業式

《3月23日》



市内小学校19校の卒業式が行われ、954人が卒業しました。

昨年度までに高根・日和田・秋神の各小学校と統合した朝日小学校では、統合後初めてとなる卒業生28人が学び舎を後にしました。

また当日は、市民憲章推進協議会がパンジーの苗を記念品として、市内卒業生全員に贈りました。

## 高 山で農業を学びます!

中国農業研修生、市長を表敬訪問

《3月23日》



JAひだが窓口となって飛驒地域の農家が受け入れている中国人研修生のうち、高山市の友好都市、麗江市(雲南省)からの6人の受入れが始まりました。

土野市長を表敬訪問した研修生たちは、習いたての日本語で「農業を学ぶために、一生懸命がんばります」と笑顔で抱負を述べました。期間は3年間です。

## ギ フチョウの飼育を通して環境学習

快適環境づくり市民会議推進大会で清見小 《3月27日》

高山市快適環境づくり市民会議の推進大会が市役所で開かれ、1年間の活動報告などが行われました。

大会では、環境保全に関する活動発表として、清見小学校4年生がギフチョウを飼育した取組みを発表。児童は地元の貴重な自然の中で生息するギフチョウの観察結果を、劇や歌で表現し、環境の大切さをアピールしました。



## 華 麗な平安絵巻、今の世に再現

飛驒生きびな祭り

《4月3日》

飛驒地方に春の訪れを告げる恒例行事「飛驒生きびな祭り」が、飛驒一宮水無神社で行われました。

飛驒一円から選ばれた9人の女性が、内裏だいりや后きさき、官女かんじょなどに扮して神社周辺を練り歩く「生きびな行列」は、奏でられる篳篥ひちりきや笙しょう、神楽笛かぐらふえの音色とあいまって、さながら平安絵巻物。訪れた多くの観光客を魅了しました。

